

ラストワンマイル輸送訓練 (緊急支援物資輸送訓練)

大阪府トラック協会では、平成31年1月29日と2月3日にラストワンマイル輸送訓練を実施した。大阪市備蓄倉庫(二次集積)より避難所等に向け支援物資輸送体制の確立ならびに検証を行った。

2月3日の訓練では、訓練車がそれぞれ備蓄倉庫に集合し、現場においてフロントマスクの取り付け、走行ルートや連絡箇所の確認、一部車両においては緊急支援物資などの積み込み作業を実施した。その後、無線機器を搭載し実施本部へ連絡した上で、3ルートの訓練パターンを実施した(図表①参照)。

ルート1：備蓄倉庫を出発した訓練車が区役所までの輸送体制の検証を行い、備蓄倉庫へ戻る。

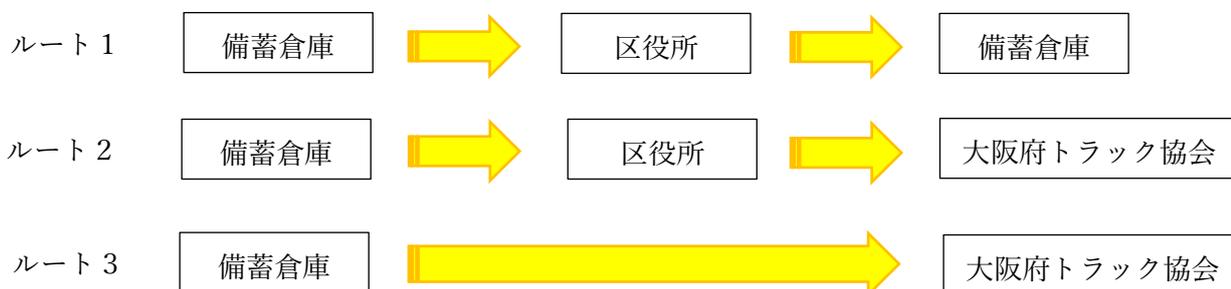
ルート2：備蓄倉庫で物資を積んだ訓練車が区役所までの輸送体制の検証を行った後、避難所である大阪府トラック協会へ支援物資を輸送・搬入する。

ルート3：備蓄倉庫で物資を積んだ訓練車が避難所である大阪府トラック協会へ支援物資を輸送・搬入する。

また、協会内部では停電時の対応に向けた訓練として、停電した際に非常電源が作動するかの確認作業も実施した。避難所である当協会に支援物資を輸送・搬入した訓練車は、実施本部へ無線連絡をした後フロントマスクと無線機器の回収作業を行った。また、訓練に参加したドライバーは非常食も試食した。

その後、熊本市健康福祉局 福祉部長の 甲斐 嗣敏 氏より「平成28年度熊本地震における支援物資輸送の現状と課題」についての講演をいただき、大阪市、大阪府の行政関係者、大ト協交通対策委員会委員、会員事業者、訓練に参加したドライバーなどが聴講した。続けて中原副会長(交通対策委員長)が講評を述べた後、意見交換会を行いラストワンマイル輸送訓練は終了した。

図表①：緊急支援物資輸送訓練ルート図



今回は、2月3日の輸送訓練を取り上げました。

スケジュール

- 10：00～10：30 無線通信訓練(実施本部⇔備蓄倉庫間)
- 11：00～14：00 支援物資輸送訓練(備蓄倉庫より各所)
〃 無線通信訓練(実施本部⇔訓練車両間)
- 11：30～12：00 支援物資搬入訓練①(トラック総合会館玄関→6階601号室)
- 12：00～13：00 非常電源設備稼働訓練
- 12：30～13：00 支援物資搬入訓練②(トラック総合会館玄関→6階601号室)
- 14：00～15：00 講演会「平成28年度熊本地震における支援物資輸送の現状と課題」
講師：熊本市 健康福祉局 福祉部長 甲斐嗣敏氏
- 15：00～15：10 講評
- 15：30～17：00 意見交換会
- 17：00 終了

無線通信訓練(実施本部⇄備蓄倉庫間)

備蓄倉庫へ到着した旨を対策本部へと連絡し、走行ルートや連絡箇所などの確認を行う。



訓練車



対策本部



訓練車

支援物資輸送訓練(備蓄倉庫)

備蓄倉庫から防災リュック及び非常食の積載作業を行う。(2トン車は段ボール4個程度を積載)



備蓄倉庫



訓練車への積み込み作業①



訓練車への積み込み作業②

無線通信訓練(実施本部⇄訓練車間)

出発時に無線連絡を行い各自目的地へ出発し、到着した旨を対策本部へ無線で連絡する。



目的地へ出発(無線連絡後)



目的地到着



本部へ無線連絡

支援物資搬入訓練(トラック総合会館玄関→6階 601号室)

目的地到着後、支援物資を訓練車から避難所へ台車を用いて運んでいく。



荷卸し作業①



荷卸し作業②



避難所へ搬入

非常電源設備稼働訓練

災害時に停電した際に非常電源が作動するかを確認。



停電の様子①



停電の様子②



非常電源設備稼働後

熊本市 健康福祉局 福祉部長 甲斐嗣敏氏による講演会

「平成 28 年度熊本地震における支援物資輸送の現状と課題」講演の様子。



甲斐嗣敏氏



講演会の様子①



講演会の様子②

講評

中原毅副会長(交通対策委員長)による当日の緊急輸送訓練の講評。



中原毅氏

今回、大阪市の協力を得て災害用備蓄倉庫から各区役所までの輸送ルートの検証や、避難所に向けた緊急支援物資輸送訓練、災害時でも混雑しにくく安定した通信を確保できるデジタル MCA 無線機を活用した通信訓練を実施させていただきました。そして、経験に勝るものはないという観点から、熊本市役所の甲斐部長様をお招きして、熊本地震の経験を踏まえた支援物資輸送にかかる諸問題等についてお話を頂戴いたしました。

しかし、訓練はあくまで訓練で、発災時に忠実に実行できることが重要であり、それが成果でございます。今日の結果に満足せず、訓練で得たものを活かしこれからも訓練を重ねていきたいと考えております。

※一部抜粋

意見交換会

今回のラストワンマイル輸送訓練を通じて得られた反省点等を話し合った。

意見交換会

まず、大阪が被災地となった時の対応として、他府県の集積地を確保する。また、官公庁もある大阪城付近にも大規模な集積場が必要だと考えられる。集積場での荷捌きは、全国から車と運転手を集められる大手宅配業者が大きな力になると考える。

通信については、電話が通じなくとも LINE アプリが活躍したという熊本での実績から、LINE で連絡網を事前に作っておくこと、また避難所の運営は地域住民が主体となることが望ましい。

熊本県の市と県の連携を参考に、我々も今後起こりうる災害に備え迅速かつ的確な行動ができるよう、今後の訓練に取り組む所存である。



意見交換会の様子

参加企業一覧

日進運輸倉庫(株)
日隆運輸(株)
井上運輸倉庫(株)
(株)オーティロジサービス
(株)福岡運送店
旭新運輸開発(株)
(有)大恵ユニック
鴻池運輸(株)
梅田運輸倉庫(株)
西川自動車(株)
ミナト物流(株)
(株)交野運送
(株)丸八運送



(株)田中運送店
(株)福井商運
丸協運輸開発(株)
(株)カーフィックス
澤田運輸(株)
やまと運輸(株)
上野運送(株)
(株)山直運送
(株)扇町運送
山根運送(株)
大正貨物(株)
(株)福島運送
(株)ダイトク

参加していただいた事業者のみなさん



ありがとうございました！！！！

今回の訓練ではなかなか食べる機会がない非常食の試食をおこないました！

その様子を少しだけお見せします。

非常食はこんな感じです



もくもくと調理して・・・



完成！！



ご参加いただいた方に
食べてもらいました！

